2026年11月27日　No.1504

A weekly letter

A DAY



株式会社　上坂経営センター
TEL　0776-36-8180
FAX　0776-36-8245
URL　https://www.uesaka.ne.jp
Mail　uesaka-t@mitene.or.jp

論説主幹　公認会計士　上坂朋宏

■時間がないからできない？？

「時間がないので、なかなか話し合いができません」「日々の仕事に追われて、しなければならないことができないのです」

このような言葉を耳にすることがあります。確かに、毎日の仕事は忙しいものです。予定していなかった仕事が突然入ることもあれば、お客様への対応に思いのほか時間がかかることもあります。決して、仕事を怠けているわけではありません。むしろ、一生懸命に働いているからこそ、時間が足りなくなるのでしょう。

しかし、私は、この「時間がない」という言葉に、少し立ち止まって考えてみる必要があるのではないかと思っています。

本当に時間がないのでしょうか。それとも、そのことのために時間をつくるという意思が弱いのでしょうか。

もちろん、一日は誰にとっても24時間です。お金は増やすことができますが、時間を増やすことはできません。経営者にも、社員にも、若い人にも、高齢者にも、等しく与えられているのが時間です。ところが、同じ24時間を過ごしていても、実現することには大きな違いが生まれます。

その違いは、**能力や仕事の速さだけではなく、何に時間を使うかという選択にある**のではないかと思うのです。

■時間の使い方＝何を大切にしているか？

時間の使い方は、その人が何を大切にしているかを表していると思います。例えば、話し合いが大切だということは、誰もが理解しています。社員同士のコミュニケーションも、部下の育成も、組織の方向性を共有することも、大切だと答えるでしょう。しかし、いざ忙しくなると、真っ先に後回しになるのが、こうした時間ですよね。それは、話し合いをしなくても、今日の仕事は何とか終わるからです。**部下の育成を一日休んでも、明日すぐに問題が起こるわけではありません。**一方、お客様からの依頼や期限の迫った仕事は、今日中に対応しなければなりません。

こうして目の前の仕事を優先する日々が続きます。しかし、ここに大きな落とし穴があるんだと思うのです。話し合いをしなければ、お互いの考え方がわかりません。情報が共有されなければ、同じ失敗が繰り返されます。部下を育てなければ、いつまでも自分が仕事を抱え続けることになります。

その結果、どうなるのか。

忙しいから話し合いができない。そして、話し合いをしないから、ますます忙しくなる。

この悪循環に陥ってしまうのです。リーダーという立場にある人ほど、このことを理解し行動を変えていく必要があります。

リーダーの仕事は、自分に与えられた仕事を終わらせることだけではありません。部下が成長し、組織全体として成果を生み出せるようにすることも、大切な仕事なのです。

そのためには、**今日の仕事を終わらせる時間だけでなく、明日の仕事をよりよくするための時間をつくらなければなりません。**

では、どうすればよいのでしょうか。

まず**「時間がないからできない」という言葉で、考えることを終わらせない**ことだと思います。一時間の話し合いが難しければ、15分でもできないでしょうか。すべての仕事を自分で抱えるのではなく、誰かに任せることはできないでしょうか。これまで当たり前のように続けてきた仕事の中に、やめてもよいことはないでしょうか。

何か新しいことを始めるためには、何かをやめる決断も必要です。そして、それでも時間が足りないのであれば、**仕事の配分そのものを見直さなければなりません。**個人の努力だけでは解決できないこともあります。その場合は、組織として解決することが必要です。

大切なのは、できないことを責めることではなく、**どうすればできるのかを考え続けること**だと思うのです。

■「したいこと」と「しなければならないこと」の関係とは？

そして、もう1つ、考えてほしいことがあります。それは「したいこと」と「しなければならないこと」の関係で

す。

私たちは、自分のしたいことには、何とかして時間をつくろうとします。趣味でも、旅行でも、好きな人と会うことでも、多少忙しくても工夫をするものです。ところが、しなければならないことになると、忙しさを理由に後回しにしてしまうことがあります。

では、しなければならないことは、すべて我慢して行うものなのか。そうではないと思います。しなければならないことの意味を理解し、それが誰のためになり、どのような未来につながっていくのかを考えることで、その仕事への向き合い方は変わってくると思うのです。

部下との話し合いも、単なる義務と考えれば負担になります。しかし、その話し合いによって部下が成長し、仕事に自信を持ち、やがて自分の力で判断できるようになると考えればそこには喜びが生まれます。

つまり、**「しなければならないこと」の中に、「したいこと」を見いだすことができる**のです。そして、これこそが、**仕事を通じて人間が成長していく一つの姿**ではないかと思っています。

さらに、この考え方は、仕事だけでなく、人生そのものにも通じるように思います。人生には、しなければならないことがたくさんあります。家庭での役割もあれば、地域社会での役割もあります。自分の思いどおりにならないことも少なくありません。しかし、**その一つひとつを、単なる義務として受け止めるのか、それとも、自分が誰かの役に立つ機会として受け止めるのかによって、同じ時間でも、その意味は大きく変わる**のではないでしょうか。

時間とは、単に仕事を処理するためのものではありません。**人と向き合い、自分を磨き、誰かの役に立ち、そして未来をつくっていくためのもの**でもあります。

だからこそ、「時間がない」と思ったとき、

「自分は、何のために時間を使うの？」

と問いかけてはどうでしょうか？

忙しい毎日だからこそ、目の前の仕事をこなすことだけに追われず、自分が本当に大切にしたいことに、きちんと時間を使っているのかを考えてみてください。

時間ができたら、大切なことをするのではなく、**大切なことだからこそ、時間をつくるのです。**その積み重ねが、仕事を変え、組織を変え、そして私たち自身の生き方を変えていくのではないかな？と思います。

あなたは、何のために時間を使いますか？

■ここからセミナーのご案内です。2種類あります。

『2027年新春セミナー　AIセミナー時流予見』

https://uesaka-seminar.biz/event/ai_seminar2027/

本セミナーでは、現在のAIトレンドを紐解き、中小企業がAIを活用するために、どのような準備をしていく必要があるのか？について、分かりやすく、解説をさせて頂く内容となっております。

講師は、弊社笹岡が登壇させて頂きます。

『上坂朋宏の時流予見　冬の陣2027』

https://uesaka-seminar.biz/event/jiryu2027fuyu/

今年も恒例の冬の陣セミナーの開催が決定しました。2016年のスタート以来、毎年、沢山の経営者の皆様にご参加頂いております。

激しく激動するここ最近の”時流”をとらえて、経営者の皆さま、幹部の皆さまに、熱いメッセージをお届けさせて頂きますので、こちらも是非、楽しみにして頂けたらと思います。

講師は、私　上坂朋宏が務めます。